

『はじめての看護研究 統計学編』

弊社書籍『はじめての看護研究 統計学編』の本文に誤りがありました。謹んでお詫びし、訂正いたします。

■p.100【結果】の2行目～を以下のように訂正いたします。

統計処理の結果、 $p=0.5368$ を示し、群間の手荒れの有無に統計学的な有意差が認められなかった。

■p.100【結語】を以下のように訂正いたします。

B剤含有エタノール製剤を試行した看護師の手荒れ発生状況は、A剤含有エタノール製剤のそれに比べ有意な差はみられなかった。このことから手荒れ防止効果という点においてはB剤含有エタノール製剤がより優れるとはいえない。

■p.103の下から5行を以下のように訂正いたします。

実際、サンプル事例のデータにフィッシャー直接確率法を適用し、A剤群とB剤群の手荒れ予防効果が同等であること（帰無仮説）を証明してみたところ、「 $p=0.5368$ 」という数値が算出されました。統計学的に $p=0.05$ 以上で有意差なしと考えるため、「2群間に差がない（同等である）」とする帰無仮説は棄却されません。従って、「2群間に差がある」という対立仮説は成り立たないこととなります。